



「便利」のその先へ

サイバーセキュリティ統括官付
参事官付参事官補佐

三宅 雅矩 MIYAKE Masanori

平成 30年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移动通信システム推進室
令和 2年 8月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課
併任 東京オリンピック・パラリンピック電波利用支援室
令和 3年 7月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課主査
令和 3年10月 同 総合通信基盤局電波部電波環境課認定推進室国際認証係長
令和 5年 7月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室自動走行システム係長
令和 6年 7月 総務省サイバーセキュリティ統括官付参事官付参事官補佐

技術が生み出すもの

この30年間で、情報通信分野ではいくつかの技術革新があり、その度に私たちの暮らしはより便利になってきました。しかし、新たな技術が人々の暮らしを豊かにするために活用される——これは決して自明なことではありません。時には悪用されたり、権利の侵害や格差の創出などを招いたりすることもあります。誰もが情報通信技術の恩恵を受け、豊かな暮らしを営めるようにするためには、行政が重要な役割を果たしています。

特に総務省では、振興と規制の両面から情報通信分野の諸課題に取り組んでおり、私もこれまで5G/Beyond 5G、自動運転などの技術開発や利活用の推進、国内の制度設計や国際標準化、国際協定の締結・運用など、様々な業務に携ってきました。時には困難に直面することもあります。最先端の技術が新たな価値を生み出し、社会実装されていく現場に立ち会うことができたのは、何事にも代えがたい経験であったと感じます。

暮らしを支えるサイバー空間

そして現在、私はサイバーセキュリティ政策を担当しており、人材育成や各種ガイドラインの策定、一般向け周知啓発などに取り組んでいます。近年、サイバー空間上の脅威はAIの進化とも相まって深刻化しており、また、私たちの身の回りの全てがインターネットに接続されるIoT時代において、ひとたびサイバー攻撃が起きれば私たちの生活基盤も甚大な被害を受ける可能性があります。このような状況に対して、安全・安心なサイバー空間と人々の暮らしを守るため、適切に技術が活用されるにはどのような施策を実施していくべきか、様々な分野の方と日々議論しながら検討しています。

30年先の未来を考える

今後も情報通信技術は次々に進化し、さらに多くの便利なサービスを生み出すとともに、私たちの身の回りの生活風景を想像もつかないほど変えていくでしょう。その過程で、ただ便利だけでなく、一人一人に寄り添った技術の活用がなされるようにするためには、高度化する技術の本質を見極め、

適切に理解し、政策に反映させることが不可欠です。そこでは、技術的なセンスを持っていることの重要性がますます高まっていると感じます。

技術が生み出す便利な世界の、さらにその先に関心のある方、総務省でぜひ一緒に考えてみませんか。



国際会議での一幕



息子との楽しいひととき

技術を、社会の“当たり前”に変える仕事

私が総務省を志したのは、情報通信技術が社会に実装され、人々の暮らしを支えていくその「基盤」を、公的な立場から支えたいと考えたからです。山間地でも動画を視聴できること、災害時でも通信が途切れないこと、放送を安定して受信できること——こうした日常の“当たり前”は、技術の進歩だけで成立するものではありません。適切な制度を設計し、適切に制度を運用することでこそ、技術は社会の中で安定的に機能します。総務省の仕事は、技術と社会の間に立ち、その橋渡しを制度として具体化していくことだと感じています。

制度を一からつくり、社会を動かす手応え

入省以来、ICTの国際展開支援や電波法の改正、現在は放送分野の経済安全保障の確保など多岐にわたる業務に携ってきました。特に印象に残るのは、電波法改正に関わった経験です。有限希少な電波を、公平かつ能率的に活用するため、価額競

争により選定する新たな周波数割当方式、いわゆる電波オークション制度を導入しました。これまではない新たな制度であったので、事業者、関係省庁、有識者との丁寧な議論を重ねながら、多くの課題や意見の調整を伴いつつ、制度を一から設計していきました。そうしてまとめ上げた制度が法律として国会で成立した瞬間には、「自分たちの仕事が社会のルールとして動き出す」手応えを強く感じました。

総務省では若手のうちから政策の中核に関わり、責任ある役割を担う機会があります。自ら考え抜いた制度が多く行動を変え、産業や社会の未来につながっていく——そのダイナミズムこそ、この仕事の大きなやりがいと感じています。

技術の進化の先にある「国民の安心」を見据えて

現在は、放送インフラが安定的に機能し続けるための制度づくりや運用に取り組んでいます。放送や通信は、日常生活や社会活動を支える基盤であり、ひとたび機能が損なわれれば、社会に大きな影響を与えます。

これからも放送や通信を取り巻く技術はさらに進化し、私たちの想像を超えた社会が訪れるかもし

れません。私たちの仕事は、社会が安定して機能する仕組みを先回りして考え、当たり前の日常を提供していく、その積み重ねだと考えています。社会の信頼を支え、未来の当たり前を設計する仕事を、ぜひ一緒に歩んでいけることを楽しみにしています。



金子元総務大臣との写真



新婚旅行で訪れたエジプトのピラミッドでの写真

“つながる”を守り、進化させ、未来の当たり前を設計する。

情報流通行政局放送技術課
映像計画係長

橋本 尚樹 HASHIMOTO Naoki

令和 3年 4月 総務省採用
国際戦略局国際協力課
令和 3年 7月 同 国際戦略局国際展開課
令和 3年 9月 併任 参事官付
令和 5年 7月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課主査
併任 携帯周波数割当改革推進室
令和 7年 7月 同 情報流通行政局放送技術課映像計画係長